

校舎内に響く子どもたちの声

◎町内の小中学校完全再開



新型コロナウイルスの影響で臨時休業していた町内の小中学校で5月25日、通常授業が始まりました。

小中学校は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により4月20日から5月24日まで臨時休業。その間、9日間の登校日を設け、完全再開に至りました。

この日、近永小学校の児童たちは、全員マスクをつけて登校。児童たちの「おはようございます」と元気のいいあいさつが校舎中に響き渡り、教職員は校舎前でうれしそうに出迎えていました。

教職員はフェイスシールドを着用するなどの感染対策を行いながら授業を行います。



協力し合って農業を学ぶ

◎愛治小学校 田植え体験



5月28日、愛治小学校3、4、5、6年生が愛治小学校下の田んぼで田植えを行いました。

初夏の日差しが照りつける中、児童たちは横一列に並び、上級生は下級生に優しく教えながら、もち米の苗を植えていました。秋にはもちつきを行い、愛治地区のさまざまなイベントに使われます。

田植えが終わると児童たちは、「田んぼが広くて大変だったけどみんなで協力できた。もちつき大会が楽しみ」などと感想を発表していました。

感謝しながら1つ1つ丁寧に…

◎泉小学校 田植え体験



6月5日、泉小学校5、6年生が泉小学校横の田んぼで田植えを行いました。

児童たちは毎年、赤米と黒米の箱苗作りから田植えの準備に取り組んでいましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大による休業が重なったため、田植えのみの参加となりました。また、全校児童が参加していた田植えも規模を縮小して実施。児童たちは自分たちの代わりに苗を育ててくれた地域の方々に感謝しながら、1つ1つ丁寧に植えていました。